



## <インドネシア・リサーチ・レポート>

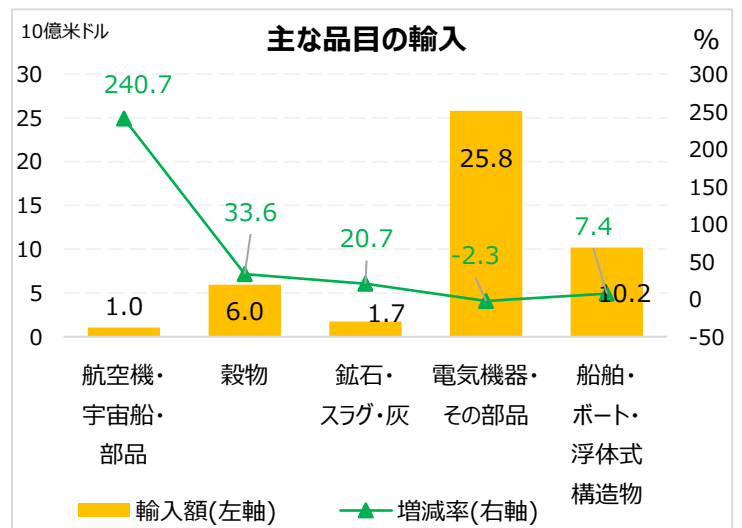
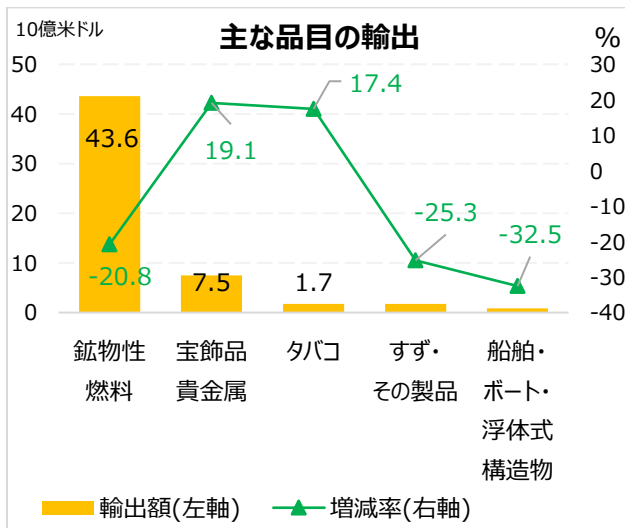
情報提供用資料

2024年2月29日

# インドネシア・2023年の貿易黒字は369.3億米ドル

インドネシア中央統計局(BPS)によれば、2023年通年の輸出額は前年比-11.33%の2,588.2億米ドルであった。石油・ガスの輸出額が0.47%減、非石油・ガスが約11.96%減であった。輸出額が減少した背景として、①パーム油、石炭、ニッケルなどの主要製品の輸出が落ち込んだこと、②重要原材料に対する輸出規制(20年1月より未加工ニッケルの輸出と23年6月より未加工のボーキサイト鉱石の輸出が禁止された)、③世界経済の減速などが挙げられる。

品目別にみると、非石油・ガスのうちで輸出額の約18%を占める鉱物性燃料が-20.78%の435.72億米ドルとなり、3番目に高い減少率を示した。一方、輸出額の伸び率が目立つ品目としては宝飾品・貴金属の前年比+19.11%、タバコの同+17.41%などが挙げられる。

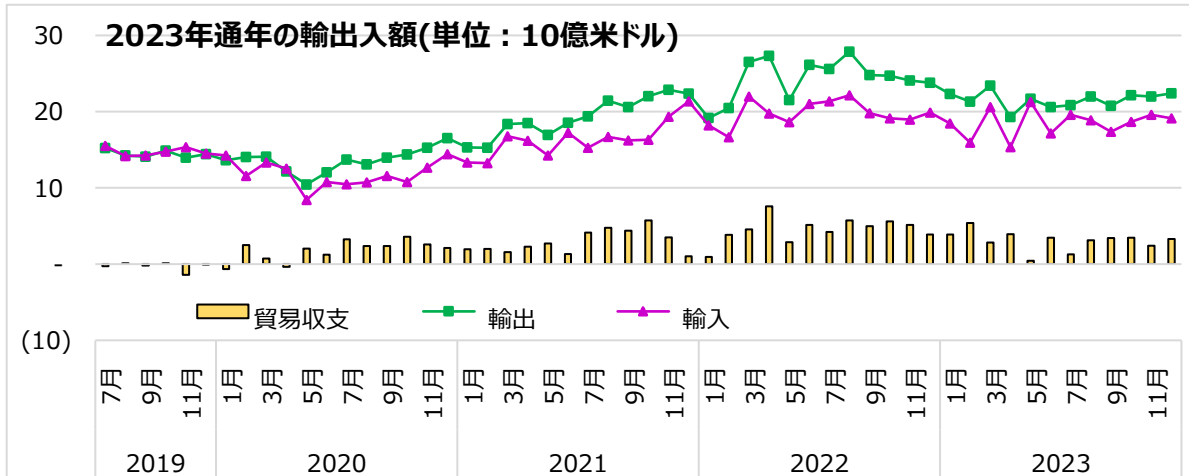


出所:インドネシア中央統計局(BPS)

2023年通年の輸入額は前年比-6.55%の2,218.9億米ドルとなった。そのうち石油・ガスの輸入額は358.3億米ドル(前年比-11.35%)、非石油・ガスのそれは1,860.55億米ドル(同-5.57%)であった。伸び率が目立つ品目は航空機・宇宙船及び部品、穀物、鉱石・スラグ・灰であった。2023年通年の貿易黒字は前年比-32.18%の369.3億米ドルとなった。非石油・ガスが568.4億米ドルの貿易黒字だった一方で、石油・ガスが199.1億米ドルの赤字であった。

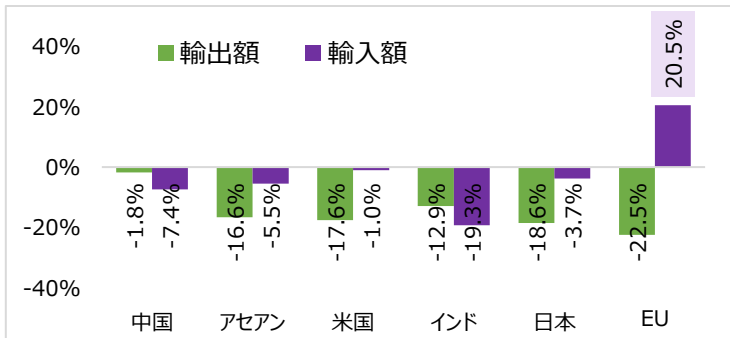
免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセット マネジメント 株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。



出所:インドネシア中央統計局(BPS)

### 2023年の国・地域別輸出入額の増減率(非石油・ガス)



出所:インドネシア中央統計局(BPS)

中国、米国、アジアなど主要輸出相手先との貿易が輸出入ともに減少した。ただ、EUからの輸入額だけは大幅に伸長した。その要因は鉱石・スラグ・灰の輸入額が増加したことであった。

インドネシア経済調整省のスウィジョノ長官によれば、同国は輸出相手先としてラテンアメリカ、アフリカ、中東、南アジアなどをターゲットにしているとのことである。さらに、包括的・先進的環太平洋経済連携協定(CPTPP)への加盟が模索され、2023年1月に発効した地域的な包括的経済連携協定(RCEP)の活用を図り、経済協力開発機構(OECD)などの国際機関との貿易面での協力が検討されている。

以上

#### 免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAMが運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。